

Forlunig

tube speakers & engine **model**



A genuine article is survived. A genuine article is reproduced.





本物は生き残る。本物は再生する。

自然な音、いくら聴いても疲れない。音像がリアル、実在している様に聞こえる。...遠近・広がり・上下まで。

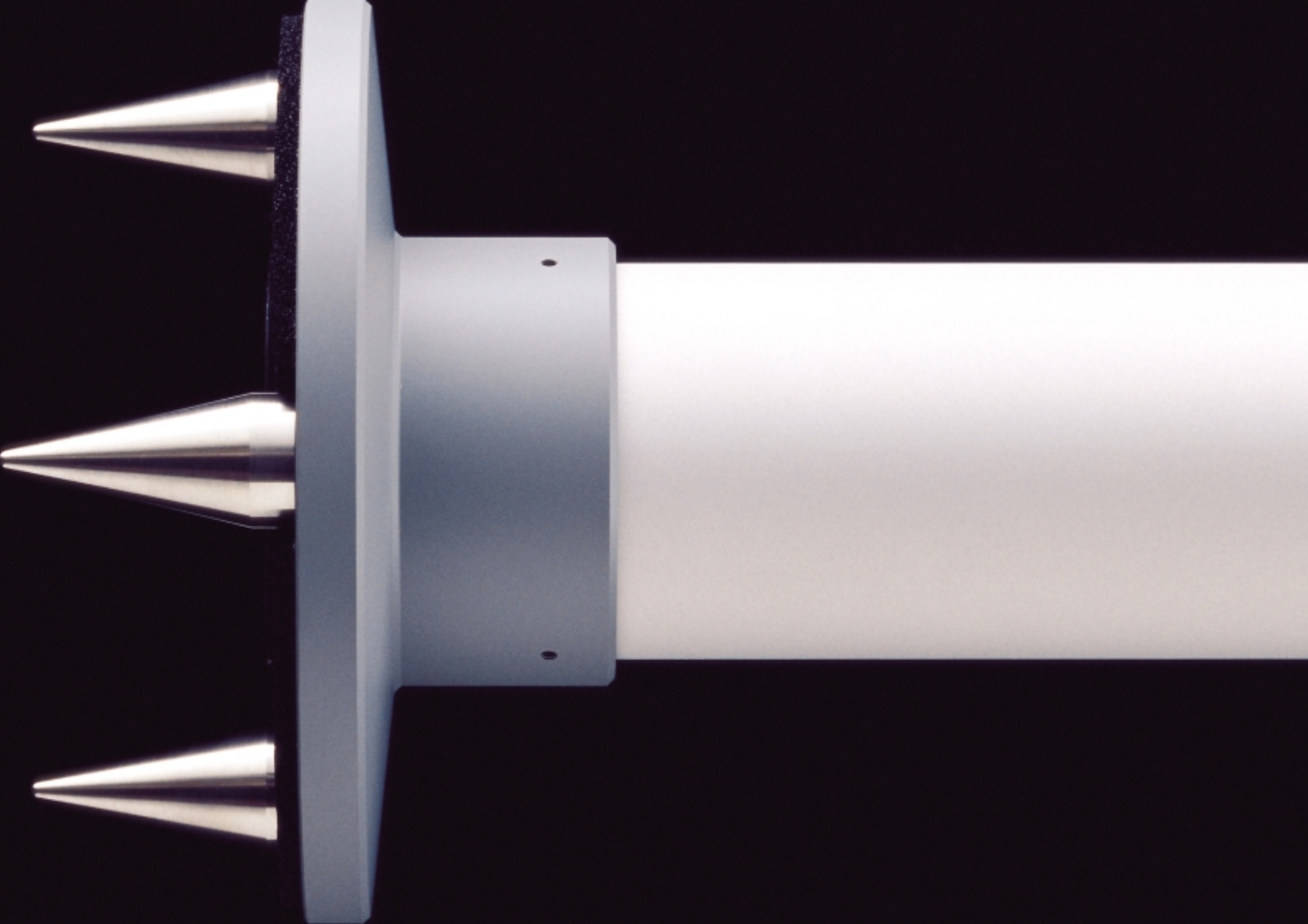
それはスピーカーが鳴っているように思えない。まるで空間から音が出てくるような...

録音された音源を、ただただ忠実に再現することに全力を注ぎ、無駄なモノを一切取り除いた画期的なシステムを誕生させました。

従来の意味でのオーディオとは呼べない。

まさに“オーディオリアライザー”と呼ぶに相応しい、新しい音像の世界が、今 始まります。









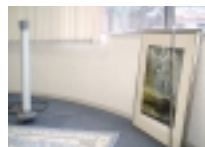
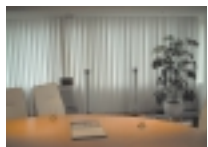
TIMEDOMAIN
AUDIO REALIZER SYSTEM

Yoshino

tube speakers & engine model

[原寸大]

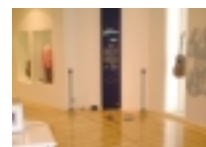
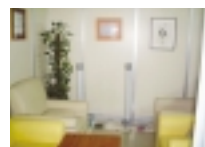
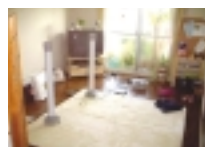
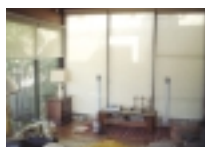
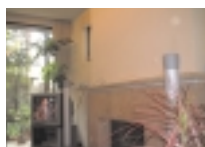




タイムドメインはあらゆるオーディオの呪縛から音楽を解放します。

本来レコードやCDによる音楽再生は、原盤に刻み込まれた情報を余すことなく伝える、というシンプルな原則にすべてが集約されていたはずですが、しかし、オーディオファイルの真撃さと、エレクトロニクスの技術進歩が、このシンプルな原則をより複雑なものへと拡大解釈していったのも間違いのないところ。「オーディオとは斯くあるべし」、オーディオの世界に足を踏み入れた愛好家達が必ずといって受ける洗礼も、こうした拡大、複雑解釈

の産物であって、本当の満足感や、それ以上の「真理」と出会うには、とてつもなく遠い道のりを強いられるのも無理のないところです。音を周波数特性という計測器レベルのデータで捕らえるのではなく、形で捕らえることで新しい再生能力を可能としたタイムドメイン。よい音再生に対し斬新かつシンプルなアプローチで挑んだ再生装置は、オーディオを、スピーカーを長年の呪縛から解放するアプローチでもあるのです。



スピーカーサイズの呪縛からの解放。

スピーカー容量が大きい=低音再生に優れるという考えは、一昔前まで当たり前のものであり捕らえられてきました。楽器は共振を利用して音を出すため、低音楽器はどうしても大きくなくてはならない宿命にあるのですが、再生機の場合その例にならず、むしろ共振がない方がよいものなのです。「Yoshii9」の実質サイズは210mm×1085mm。このコンパクトなボディからどうして?と、お考えになるかもしれませんが、忠実に動くためには軽くて小さいほうが良いということを実証しているのです。

オーディオルームの呪縛からの解放。

オーディオの世界で重要さが説かれてきた“リスニングルーム”。しかし再生機から部屋構造まで十分な計算が施されたリスニングルームでも、一歩部屋を離れてみると、ボンボンというウーハの典型的な運動音が響いていることに気づきます。これは原盤に刻まれた情報の自然な再生とは程遠い局所的な味付けに他なりません。「Yoshii9」の場合、離れた部屋、それが階下であっても自然に聴こえるはず。これはタイムドメインの音づくりがきわめて自然なものであり、当たり前のように放出された音が周波数全域に渡って自然に減衰していく証でもあるのです。

ソースの呪縛からの解放。

オーディオ求道者のソースへのこだわりからすれば、今やカセットテープの情報量や、ましてコンピュータから供給される音など、オーディオの範疇に入らないかもしれません。しかし、今や生活の中で楽しむ音楽となると、CDやMDと同様コンピュータサウンドやカセットテープは重要なソースであり続けています。「Yoshii9」の場合、ソースを限定しません。かつて思い出とともに残されたカセットテープでも、話題のブロードバンドメディアが伝える今の音でも、自然にしかも心地よく伝えることが可能なのです。



Specification

仕様

スピーカー

- ・高さ (H) 108.5cm
- ・幅 (脚部) 21.0cm
- (筒) 9.0cm
- (上カバー) 11.0cm
- (スピーカー防護ネット付)

アンプ

- ・縦 (D) 16.8cm
- ・横 (W) 13.0cm
- ・高さ (H) 6.0cm

希望小売価格 300,000円(税別)



Profile



由井啓之 (Hiroyuki Yoshii)

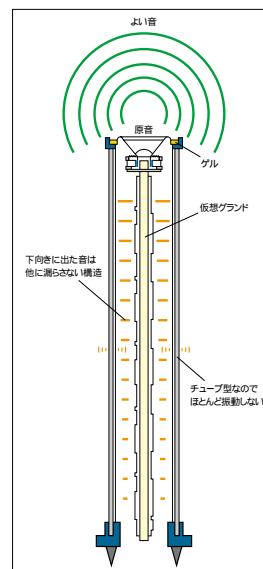
音響エンジニア。

(株)タイムドメイン代表取締役社長。

1996年音響メーカー退職後、会社を設立。

奈良県生駒市高山町の山間にある、

高山サイエンスプラザで研究開発に挑む。



タイムドメイン型スピーカーの概念図

タイムドメイン理論とは

音楽の感動を伝えるには、またアーティスト(音楽家)の心まで伝えるには何が必要でしょうか。それには何も加えず、欠落させずに、音源からの音を100%引き出し、ありのままに伝えることが必要であると考えました。音楽家が選んだ楽器の音色、長年努力して得た演奏。これらの全てを再生しなければならないと考えました。従来、媒体にはそこまでの音は入っていないと思われていましたし、むしろオーディオ的な快さを求める傾向もありました。そのような中で新たな研究を始め、音、音楽の超忠実度再生のために理論の見直しから始めました。その結果たどり着いたのがタイムドメイン理論です。従来のフレクシッドメイン(=周波数領域)の考えでは周波数成分を忠実に再生しようとするのに対し、タイムドメインの考えでは音の形を正しく再生することを主眼においています。



株式会社 タイムドメイン

〒630-0101 奈良県生駒市高山町8916-12 高山サイエンスプラザ

TEL: 0743-72-3310 FAX: 0743-72-3313

E-mail support@timedomain.co.jp http://www.timedomain.co.jp/

お問い合わせ・ご用命は